

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 。 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20 年 3 月 25 日
事業所名	グループホーム 清里
ユニット名	4F
事業所番号	2370400869
記入者名	職名 管理者 氏名 早川 朋子
連絡先電話番号	052 - 503 - 6131

自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念を作り、フロア、スタッフルームなど常に目の届く位置に掲げ、毎日の申し送り時にスタッフ皆で声を出して読み上げている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム独自の理念を作り、フロア、スタッフルームなど常に目の届く位置に掲げ、毎日の申し送り時にスタッフ皆で声を出して読み上げている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレットを作成している。 2～3ヶ月に1回の運営推進会議にて地域への理解を求めている。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出かけた際など、ホームの近隣の方、または時々お会いする方には挨拶をこちらからするように努めている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会による夏祭りや秋祭り、小学校での運動会など地域の行事に参加し、触れ合っている。		地域の「クリーンキャンペーン」の時など、毎日のように利用している公園清掃など機会を持ちたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる			運営推進会議の場で、自治会の方へ地域の高齢者の方の様子をお聞きするが、なかなか役立つところまではいかない。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価にて良い事はより良くなるために努力し、改善すべき点はスタッフ共々見つめ直し、質の高い介護を目指している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ではホームの様子をお話したり、ホーム内を見てご意見をいただき、必要な事は職員に報告されており、サービスの向上に活かしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者、支援センターなどに運営推進会議への参加を呼びかけだが、人が少なくて無理であると断られた。		市町村、支援センターの方に現場を知っていただき、参加していただきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な方には、ご家族にお話をし、支援している。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては、常に利用者様の身体状態に気を配り、注意を払っている。		虐待の防止に関係する講習、講演などには、なるべく参加するよう心掛けている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約前に見学していただき、疑問や不安なことに対して丁寧に説明している。		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	利用者様から直接聞いたこと、家族を通して聞いたことをミーティング時、場合によってはその都度話し合い、改善している。		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	利用者様の生活の様子を、面会時に必ずお話しさせていただくことはもちろん、定期的に行事での写真や様子などお手紙でお知らせしている。		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	玄関に誰もが意見、不満、苦情が言えるよう、意見箱を設置している。		意見箱をもっと目に付きやすく解りやすい場所に見直し、気軽に意見をしてもらえるように取り組んでいきたい。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	月1回のミーティングを定例とし、スタッフの意見交換の場となり、日々のケアに反映されている。		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	入浴日、時間等、特にスタッフが利用者様に常に目が届くように、人数の確保、声かけに努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	スタッフの能力、性格等を十分に見極めた配置を心がけ、階を固定させている。		
5.人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	スタッフ各自の立場、経験の段階に応じて、研修を受ける機会を作っている。		なるべく多くのスタッフが研修を受けられるようにしたい。
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同業者との勉強会に月1回参加し、お互い意見交換をしたり情報交換を行っている。		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	毎日の休憩時間の確保により。心身を休めることができる。 親睦会、忘年会等の実施。		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	毎日、運営者や総合管理者にその日の報告をし、ホームの状況を伝えている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
１．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	入所すぐにセンター方式を行い、１ヶ月後くらいに「できることできないことシート」をスタッフ全員が記入し、利用者様と関わる時間を設けている。		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	契約時も含め、ホームを見学していただき、パンフレットもお渡しし、質問に答えている。		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	グループホーム以外にも利用できる施設のお話をさせてもらっている。		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	お試しの入居がある事をお話しし、心配なご家族には安心していただけるように勧めている。		
２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	幅広い年齢層のスタッフが居るので、孫であったり娘であったり嫁であったりと、まさに大家族のような利用者様を尊敬する気持ちを持ちながら、一緒に楽しんだり笑ったりし、良い関係を築いている。		利用者様の得意とする三味線を教えていただいたり、戦争の話を聞かせてもらったりしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の話にも傾聴し、こちらの気持ちも伝え、ご相談しながら、本人にとって良い支援を考えている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様の希望があれば、ご家族に電話をしたり、本人の気持ちをさりげなく伝えたりしている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、友人などいつでも気軽に訪問していただき、また外出、外食など積極的に勧めている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の相性もあるので、時には見守り時には仲介に入る。またスタッフが一部の利用者様に固まることのないよう、常に全体をみるよう努めている。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今までの経過としては、契約が終了するとなかなかその関係は保っていないのが現状である。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	その人らしい暮らしが送れるよう、本人の思いや希望が汲み取れるようスタッフ間で情報の共有を図り、統一したケアが出来るよう心掛けている。		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	一人一人の生活歴、生活習慣など、本人、家族から情報収集を行い、日々の介護のヒントとなるものはないか、常に考え、ケアに役立てるようにしている。		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	介護記録以外にも何か変わったことがあれば連絡ノートに記入している。 申し送りにて随時報告している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	担当国会議を開き、計画の見直しをしている。		ご家族に訪問の機会を増やしていただけるよう働きかけたい。
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の見直しを行い、対応に困っている時は担当国会議を開いたり申し送り後にミーティングを行い、問題を解決し少しでも良い方向に向くよう努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個人の介護記録を記入。		出来事の記録のみになりがちなので、そのときの利用者様の表情や様子をもっと記載できる能力を身に付けたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	ケアプラン作成時、必ずご家族に相談しご意見を頂いている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	月に一度ホームに、ボランティアの方が慰問される。		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	利用者様の選択肢を広げる為、マッサージ、病院、美容院など利用者様本位のサービスを提供している。		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	地域包括支援センターと協働していないのが現状である。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	本人及びご家族の希望があれば、かかりつけ医の方へ受診している。		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	ご家族の方が利用者様と一緒に認知症の専門医に受診、相談されている。		ホームドクターとして認知症の専門医の支援が欲しい。
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	利用者様の細かな所から全身状態まで、日々安心して穏やかに過ごせるよう、健康管理を行っている。		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	入院した場合、管理者が常にご家族、病院関係者と情報交換、相談などで連絡をとっている。現状態を把握するため、病院へも出向いている。		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	定期的に書面で重度化や終末期に向けた方針の確認を行っている。		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	日々変化している利用者様に対して、今何が必要か、何が出来るのかをスタッフで話し合い、出来る限りのケアを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	本人が不安になるような話をしないよう注意する。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	ミーティングにて利用者様に対しての言葉使い、対応について話し合っている。 日々気になることは、その都度注意、呼びかけている。		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	ゆったりとした時間の中で、じっくりと話をし、本人の思いを傾聴するようにしている。 スタッフからも色々なことに誘うが、無理強いはせず、様子を見ながら行う。		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	希望があった場合は、時間を作り出来る限り出かけている。		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	月一度の訪問美容室にて、希望者のカット、顔剃り、カラー等行っている。(希望があれば外の美容院へ行くことも可能である。)		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	のり巻き等、得意な方に巻いてもらったり教えていただいたりする。 献立を立てるときも「何が食べたい？」と相談しながら決める。		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者様の希望に合わせ、朝食に梅干、らっきょう、ふりかけとそれぞれにお出ししている。		
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の訴えの無い利用者様には、時間間隔を見ながら声かけ誘導を行い、出来る限りオムツの使用をしない介護を心掛けている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回、午前、午後に分けて行っている。		入浴日は、一人一人の希望を聞き、好きな時間に入浴できる環境にすることができるよう取り組みたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間不眠だったら、なぜなのか考える。例えば、本人が安心できているのか？昼間の過ごし方はどうなのか？と考える。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔やっていた踊り、編み物、裁縫、花札、お手玉、歌等、利用者様の様子を見ながら一緒に楽しんでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	本人の希望があり、小額の金銭の管理が出来る利用者様に、一週間千円程度のお金を自由に使える機会を作っている。		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	散歩、買い物等、可能な限り支援はしている。		スタッフの人数が少ない日や場所によってはなかなか思うように一人一人スタッフが付き添うことが難しいことも多いため、出来るだけ本人の希望を叶えられるよう努力していきたい。
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	介護タクシーなど利用し、水族館や外食などの機会を作っている。		利用者様の意見も取り入れながら計画を立てたい。
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	本人から希望があれば、電話をしている家族にも了解を得ている。 年賀状、暑中見舞い等も書いている。		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	訪問があった場合、気持ちの良い挨拶と笑顔で迎えるようにしている。 利用者様の部屋や居間にてお茶を出し、ご本人の様子もその都度伝えている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	頻繁に立ち上がり、転倒の恐れがある利用者様に対しても、必ずスタッフが付き、そちらを優先している。何か集中できることを探しやっていたりしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、居室には鍵をかけず、徘徊のある利用者様のドアには鈴を設置したりスタッフが常に見守り出来るように工夫している。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者様の様子、表情等、常に注意し、独りになりたい方には邪魔にならないよう、おやつ前、食事前のさりげない声掛けをする。 夜間は2時間ごとの巡回を行っている。		全体が見渡せる場所にいたり、スタッフが何かをしていても、それだけに集中しないように気を付けている。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみ、爪切りなど危険なものは本人の了解のもとに一時預かり、必要な時は本人に渡し、使用時は必ず見守りを行っている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	通路、共有スペースには不要な物を置かないようにしている。また、常に転倒の危険のある人には見守り付き添い介助を行っている。		
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	利用者様の急変や事故発生時にスムーズな連絡、処置をはかるため、スタッフルームにマニュアルを貼ってある。		応急手当や初期対応の仕方を全ての職員が出来るよう徹底していきたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難用具は設置されているが、職員のみ使用した。 地域の消防団の方には運営推進会議にてお願いしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>状態の変化をこまめに家族に連絡している。また、そうすることによってお互いの信頼関係が築けるように心掛けている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>少しの体調の変化も見逃さないよう、申し送りでの報告、連絡ノートで情報の共有に努めている。また、それを対応に結び付けている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者様一人一人、名前、日付等の確認後服用してもらい、必ず飲み込むのを確認してから席を離れるようにしている。</p>		<p>スタッフ一人一人も個人差があり、全てのスタッフが薬の知識が十分とは言えないため、知識の向上に努力が必要と考える。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>毎日散歩に出かけ、また、テレビ体操など取り入れている。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>口腔ケア、入れ歯の洗浄。 認知が進み拒否の強い利用者様に対して、なかなか上手く支援できていない。</p>		<p>口腔ケアの必要性は実感しているが、認知症状の利用者様の拒否などにより十分ケアができないこともあるため、定期的な歯科医の往診などができると良いと思う。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一日の水分量を一人一人チェックし、排泄とのトータルバランスを毎日チェックしている。また、食事摂取量のチェックを行っている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外出からの帰居時は必ず手洗い、うがい（イソジン）を施行している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	清潔を保てるよう、毎日の掃除、食器、まな板等の漂白。 食材の賞味期限に注意し、わかるように冷蔵庫の扉に貼ってある。野菜も一度にたくさん購入しない。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関ロビーには、ソファや観葉植物、ぬいぐるみ等を配置し、くつろぎの場として、またホームでの行事の写真を掲示して、近隣の人々が親しみを持てるようにしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食事やくつろぐためのフロアでは、壁面には季節に応じた工夫を凝らし、利用者一人一人の似顔絵を配する事により親しみを持って過ごせるようにしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の窓際に小さなソファを置き、少人数あるいは一人で過ごせる空間を作っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れた家具や寝具、あるいは仏壇など も配置し、これまでの生活を変わりなく過ごせる よう配慮している。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	定期的な換気に心掛け、冬季など空気の乾燥には 加湿器を使用して適切な環境を整えている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	段差は無く、廊下、トイレ、お風呂場等に手すり を付けている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	「センター方式」の記入をすることによって利用 者様の「できること、できないこと」を見極め、 残存機能を生かせるよう出来る事は時間が多少か かっても自分で行ってもらえるように支援してい る。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	建物の前の畑で、家庭菜園を楽しんだり、好きな お花を育てたりしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の 2 / 3 くらいの 利用者の 1 / 3 くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に 1 回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の 2 / 3 くらいと 家族の 1 / 3 くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の 2 / 3 くらいが 職員の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の 2 / 3 くらいが 家族等の 1 / 3 くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

我が家に居る時のような家庭的雰囲気の中で、自由に過ごしていただく。
安全で楽しく暮らせる所。